

平成 24 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	桜ヶ丘 2 丁目自治会
活動テーマ	①災害時要援護者及び全世帯避難訓練



・目的や動機

今年で 3 回目の災害時要援護者避難訓練と 2 回目を全世帯避難訓練の継続、ごった返す一時避難所で、情報班救出班、救護班、本部を色分けのチョッキを着用し、効率よく巨御活動ができるかの検証。子どもにも大人と同じメニューを与え実行できるかの検証。

・活動の実施方法や内容

実行に先立ち、昨年の要援護者リストの更新のため全戸訪問で最新バージョンにした。

昨年までは実際の街路から要援護者を救出訓練したが、皆さんには見えず担当者しか理解できないので、全員避難訓練で皆さんが集まった後、模式的に皆さんに説明しながら訓練を実施した。昨年は町内の現役医師にも参加いただいたが、今年のご都合で不参加であったが、救護班は 3 人の現役看護師に参加いただいた。

その他、あり合わせの材料での応急手当訓練、給水車からの受水訓練、水消火器訓練、炊き出し、非常帯出品や非常食の展示、救出資機材の説明もコーナーを設け、行った。

・活動で得られた成果

地域の防災意識の高揚。地域の連帯感。子ども達が大人以上に機能することの実証、これは 3 ヶ月前に「子どもサバイバルキャンプ」で学んだことを、ここで更に磨きをかけてくれたのではないかと思います。

平成 24 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	桜ヶ丘2丁目自治会
活動テーマ	②子どもサバイバルキャンプ (防災訓練)



・目的や動機

継続性（8年間）の維持、来るべき巨大地震の矢面に立つのは今の子どもたちであるという認識。防災教育のみならず地域活動への参加意識が将来の地域の担い手になるという期待、外で縦の関係で一緒に遊び・学ぶことで協調性を育むことの期待。

・活動の実施方法や内容

指定一時避難所で野営し、室内でのゲーム・勉強も取り入れ、屋外で防災用資機材を使用し、防災の基礎知識を習得する。野営の夕食と朝食の準備は大人の炊き出し訓練を兼ねる。

今回は急な夕方の雷雨で、テント泊は断念し、指定避難所での公民館で宿泊、子どもにとって最大の楽しみがそがれた。

・活動で得られた成果

子どもたちの地域での連携観の発揚、春休みなど上下関係でよく遊ぶ、日常挨拶を良くしてくれる、他の地域活動に積極的に参加する、片付けや清掃などイベントが終われば台車やリヤカーなど自発的に持ってきて大人を手伝う、将来の担い手が着実に育っている予感がする。